

樹脂材料の長期耐久性評価として、引張、曲げ、圧縮モードでのクリープ特性を評価致します。

負荷応力(荷重)を変えて、それぞれ破壊に至るまでの時間を測定し、それらの結果をプロットすることで、樹脂材料の寿命予測評価も可能です。

クリープ破壊：樹脂材料に長時間負荷を与えると、破壊強度以下で破壊が生じる現象。

【クリープ試験装置】



試験条件	
試験温度	23℃~200℃
試験荷重	1~500kg
試験モード	引張、曲げ、圧縮
試験可能数	n=6まで

【試験片例】

- 引張モード：ISO 1Aダンベル片 等
- 曲げモード：80mm x 10mm x 4mmt 等
- 圧縮モード：10mm x 10mm x 4mmt 等

※上記試験片以外でも対応しておりますので、ご相談下さい。